



子どもたちの体験に大事なことは“辛抱するチカラ”

～それを対話で伝えていくのは大人の責任～

先日、今年で15回目を迎えた「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」に参加した。テーマに「社会総がかりで、愛媛の子どもたちを健やかに育てよう」を掲げ、県内各地から教育、福祉、企業等の関係者が集い、議論を交わした。記念講演では、阪神淡路大震災を体験し、学生時代から不登校支援や体験活動に関わり、現在は公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの代表理事を務める今井 悠介氏が「子どもの体験奨学金事業(教育クーポン)」を通じて子どもの体験格差の解消に取り組んでいる状況を語ってくれた。若い世代の発想に感心すると同時に、何とも言えない落ち着きの悪さを感じている自分がいた。

以前は「子どもをダメにしたければ、言われたら何でもすぐに分け与えなさい」と教えられてきた。しかし今は子どもに我慢や苦勞させることは、悪いことだと感じてしまう大人が多くなった。「可愛い子には旅をさせろ」という教訓は、何が起こるか分からない現代社会では死語になってしまったのだろうか。そもそも旅行を意味するトラベルの語源はトラブル、辛い労働や苦勞とも言われるが、現代では出来合いの何の心配もないツアーに流れてしまっている。

そもそも、夢はなかなか叶わないからこそ夢なのではないか。誰かがお膳立てし、すぐ実現できるものには何の有り難みもない。でも子ども達の欲望をすぐに満たすことが大事と思い込み、子ども達が自分で考え、成し遂げるまで待つ余裕がなくなっていないだろうか。子どもの体験が少なくなった。だからその機会を提供することが大人の務めだという意見を無条件に受け容れてしまう。子ども達の成長には、「辛抱」という美德が必要だと言われてきたはずだ。「辛抱」は、受動的な「我慢」とは違い、目標を達成するための能動的な取り組みである。そんな考え方は今の子どもには通用しない、時代遅れだと一笑に付される気もするが、これは本当に正しいことかどうか、今こそ立ち止まって考えたいと思う。

何かを辛抱して、その先に獲得できた時の感動にこそ意味がある。そんな体験が誰にでもいくつかあるはずだ。憧れを抱きがんばっても実現には中々至らなかったことがようやく実現できた時の喜び、何度やっても失敗していたことが、何かのきっかけで成功した時の嬉しさは格別ではなかっただろうか。様々な格差によってチャンスが閉ざされることは決してあってはならないが、チャンスが無条件で、過剰に与えられることは、主体性を削いでしまうのではあるまいか。子どもは自らが選択したことならば本気になる。本気であれば、失敗しても諦めずに何度でも挑戦する。そんな脱皮を繰り返すことで段々と大人になっていくのではないだろうか。

大人の勝手な思い込みではなく子ども達と、対話を重ね、何が大事かを語り合おう。それぞれの考えを認め合い、自分の体験や価値観を披露し、納得できる答えを探っていこう。子どもの主張にきちんと耳を傾け、でもそこで安易に妥協せず、自信を持って人生の智慧を伝えよう。それこそが大人が次代を担う子どもたちに果たすべき責任に違いないと考えさせられた研修会であった。

(文責 関)



「おとなのマナー講座」



6月13日から始まった講座が8月22日に終わりました。フランス料理のマナーや料理の調理法、オリジナルの一皿づくりと3回、いろいろ学ぶことが出来ました。毎回コース料理付きで、楽しく食べて楽しく学ぶことが出来ました。

第1回「フランス料理のテーブルマナー」



第2回「プロから学ぶフランス料理の調理技法」



第3回「オリジナルの一皿づくり」



《受講生の感想》

- 料理もすごく美味しくて、自分でチャレンジ出来そうなメニューもあり参考になりました。マナー講座は知らない事もありすごく勉強になりました。
- シェフが作っている所を見ることが出来たのはとても良かったです。お料理を作りながら質問に答えて頂き、ポイントなどの説明も解りやすかったです。
- 盛り付け方で、料理が美味しそうに見えたりするのがおもしろかった。今回は盛り付けの体験ができて良かった。
- 自宅では道具を使って盛り付けすることもないので勉強になりました。



「こころ」

野網 正美



新居浜市生涯学習センターは平成20年頃より、高齢者創造学園は平成11年頃より学ばせていただいております。市内なので通いやすく、いろいろな講座がありとても楽しみに聴講させていただいています。

平成23年は『悠游ワーク認定書』（第29号）を頂き、昨年の令和6年には、学び舎えひめ悠々大学、ブロンズ賞とゴールド賞を頂きました。

しかし年齢とともに体調を崩して、平成26年に近くの診療所へ行っていろいろ検査を受け、先生から心臓が肥大している、紹介状を持って近くの大きな病院へ行くように言われました。行った病院では歩かせてもらえず車椅子でのいろいろな検査でした。カテーテルやエコーを見ながら、ここの所の血の塊（血栓）が体の何処へ行くか分からない、脳へ行くと脳梗塞になると……。心不全、心房細動、不整脈、徐脈頻脈症候群、僧帽弁狭窄症、高血圧等などと心臓の病気をいろいろ言われました。3週間ほど入院しましたが何とか退院はできました。

病気の不安でこころが折れそうになってしまい、どこに救いを求めればいいか、図書館で本を借りて読んだり家族や友人に聞いてもらったりして、何年か経ちました。70歳を過ぎたある時、施設に置いてあった「放送大学」のパンフレット、その中に心理学があり心が動きました。さっそく問い合わせ主人と一緒に説明を聞きに大学へ行き、入学することに決めました。

自分から必死の思いで学ぼうと、心理学を学ばせていただき前向きになっていきました。4年間の勉強で卒業でき、その間「認定心理士」の資格も習得できました。卒業式は東京のベルサール高田馬場であり、登山なら登り切ったと感慨無量でした。しかし、このまま学校を離れると、一人で学び続けることに不安があり、卒業後も再入学し学び続けています。

最初の入院から何度となく入退院しながらでも、放送大学に繋がって学び続けられることに感謝です。三浦綾子さんをはじめ、かなりの本を読み、今読んでいる本は、柳田邦男著の生と死に関した『犠牲』、『犠牲への手紙』でとても感銘を受けました。

身体が学びの場所へ行くことができる間は、いろいろと学び続けたいと思っています。





講座カレンダー



予定のご確認を...

※警報や災害・講師の都合などで
日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
1	水	◎新・雑談しま専科	5	交通安全教室	9:30	生涯学習センター研修室
		賢い生活者になるため	4	あなたの空き家課題、一緒に解決しましょう	13:30	生涯学習センター研修室
2	木	科学博物館講座	5	「地震だ!」その時のために何をする?	10:00	科学博物館第1研修室
3	金	M・天然記念物	1	天然記念物について～川東編～	9:30	現地
4	土	新居浜高専市民講座	5	社会を支える制御とは	9:30	新居浜高専視聴覚教室
		日本文学講座	4	新居浜市出身の俳人、本田三嶺子と品川鈴子の俳句人生について	13:30	生涯学習センター研修室
7	火	自然探訪	2	森の移り変わり(煙突山)	10:00	現地
		絵本セラピー	4	ことばときもち	13:30	生涯学習センター研修室
8	水	◎懐かしの心の唄講座	4	時代が生んだ懐かしい歌を唄う	10:00	文セン別館中ホール
		医学講座	4	呼吸リハビリテーションについて	14:00	文セン別館視聴覚教室
9	木	M・一文字	1	私の好きな一文字	10:00	生涯学習センター研修室
10	金	健康いきいきライフ	3	ストレスとそれからくる肩こり ～マッサージ実践編～	13:30	ふれあい多目的アリーナ
14	火	超入門ハングル講座	7	韓国語の語順と助詞の使い方と終話の使い方	14:00	生涯学習センター研修室
20	月	◎人間学講座「無門関」	5	無門関講読	9:30	生涯学習センター研修室
		◎アフリカ理解・国際交流	2	アフリカンファッションを楽しもう!	13:30	生涯学習センター研修室
21	火	M・クリスタル	1	クリスタルヒーリング	9:30	ふれあい多目的アリーナ
22	水	しあわせ学入門	2	いまとここを生きるとはどういうことか	13:30	生涯学習センター研修室
23	木	M・おせちプレート	1	食べられないおせちプレート作り	10:00	生涯学習センター研修室
		◎これからのまちづくり	3	みんなの想いをカタチに	13:30	生涯学習センター研修室
24	金	健康長寿の秘訣㉑	4	運動で心も身体も軽やかに	13:30	ふれあい多目的アリーナ
25	土	松山大学公開講座	7	ドラックデリバリーシステムの現状と展開	13:30	生涯学習センター研修室
27	月	M・コーヒー	1	コーヒーいかがですか?	9:30	生涯学習センター研修室
		健康長寿の秘訣㉒	4	運動で心も身体も軽やかに	13:30	ふれあい多目的アリーナ
28	火	◎へんろ学と郷土物語	4	祇園信仰のこと	9:30	生涯学習センター研修室
		超入門ハングル講座	8	初対面の会話	14:00	生涯学習センター研修室
29	水	M・フェルト	1	フェルトで遊ぼう～ポーチを作る～	12:30	ウィメンズ料理実習室
30	木	科学博物館講座	6	ホログラム～光が生み出す不思議な世界～	10:00	科学博物館第1研修室
		俳句(自主講座)	2	写生と季節	13:30	生涯学習センター研修室
31	金	文化財見聞録(市内編)	1	川西地区から城下の文化財をめぐる	9:30	現地

※◎がついている講座は聴講可能講座です。